

■レストラン運営事業者決定

日本館レストラン運営事業者を公募した結果、このたび、日本フードサービス協会（JF）のコンソーシアムに委託することが決定しました。同コンソーシアムには、壱番屋、柿安本店、サガミチェーン、モスフードサービス、人形町今半、美濃吉、吉野家ホールディングスが参加し、日本館に設置予定の本格日本食レストラン、フードコートに運営にあたります。

この決定を受け、6月13日には加藤辰也ミラノ万博日本政府代表よりJFに対し正式依頼を行なうとともに、林芳正 農林水産大臣より記者発表を行ないました。発表会には、柴田陽子 レストランプロデューサー、櫻田厚 日本フードサービス協会会長などが参加し、今後の意気込みを語りました。

日本館レストランの最新情報は今後本サポーター通信でもお届けしてまいりますので、どうぞご期待ください。



林農林水産大臣

櫻田JF会長



本格日本食レストラン



フードコート

■ 日本館着工記念式典を開催

6月16日、ミラノ万博会場内の日本館敷地において日本館の着工を祝う記念式典を開催しました。式典には、マリオ・マントヴァーニ ロンバルディア州副知事のほか、ジュゼッペ・サーラ エキスポ2015株式会社代表取締役、古賀京子在ミラノ日本国総領事を来賓にお迎えし、工事の安全と建物の無事を祈念して鏡開きを行いました。

鏡開きという、ミラノ万博のテーマである「食」にも通じる日本の伝統行事が話題を呼び、当日の様子はイタリアの国営放送「RAI」でも放映されるなど、現地で大きな反響を呼びました。鏡開きには、ミラノ万博マスコットの「Foody (フーディ)」も駆けつけてくれました。

2015年春の完成に向け、日本館はこれより本格的な建築工事に入ります。工事の様子は本サポーター通信でもお伝えしてまいります。



鏡開き (右端はマスコットのFoody)



マントヴァーニ副知事



加藤政府代表



サーラ代表取締役



古賀総領事

■ 日本館アテンダントの募集を開始

7月7日、日本館アテンダントの募集を開始しました。アテンダントは来館者のお出迎えから、ご案内、VIPの接遇まで、日本館運営の様々な業務を担うまさに日本館の「顔」となる重要なポジションです。募集人数は110名程度。応募締め切りは9月16日で、書類選考、一次選考、二次選考を経て、11月中旬に内定予定です。

アテンダント募集サイトには、過去の万博のアテンダント体験記等も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

□ アテンダント募集サイト <<http://expo2015-staff.jp/>>



■ミラノ万博最新情報

ボランティアを募集開始

ミラノ万博公社は、一般市民に万博会期中の様々な活動に参加してもらうボランティアの募集を開始しました。6月20日・27日にはEXPO GATEにおいて説明会を開催しました。ミラノ市内の至るところでも募集ポスターが散見されるなど、盛り上がりを見せています。



■ミラノ市内の様子 (レポート: 2014年6月)

ミラノ万博のバナーフラッグやポスターなどが至るところで掲出されたり、市内の観光バスや車にもステッカーが貼られるなど、万博への盛り上がりを見せています。市内の中心に位置するガリバルディ駅近くには、万博概要と会場計画を案内するデジタルサイネージが設置されています。



■ミラノ市内のインフォポイント「EXPO GATE」登場!

ミラノのシンボルの一つであるスフォルツェスコ城の前に5月10日にオープンしたEXPO GATE (エキスポゲート) は、建築家のアレッサンドロ・スカンドゥーラ氏がデザインし、万博情報のインフォポイントとしてミラノ市民の注目を集めています。EXPO GATEには案内センターやセミナー会場が設置され、各国語対応の万博会場MAPやマスコットがプリントされたポストカードが配布されているほか、映像の上映、グッズの販売等も行われています。



また、EXPO GATE前の広場では連日イベントが開かれています。

6月には「FOODAMI」という催しが開催され、生産者、農家、農業の専門家らが集い、ワークショップや映画上映、子供向けイベントなどが行なわれました。

